

西小は 大きな 家族

Family

～校長のたわいもない独り言・その2～

令和2年3月25日(木) No.56

発行人

2年間おつきあいくださりありがとうございました m()m の川崎先生。

★新型コロナウイルスの蔓延防止に係る臨時休業 3/3(火)～3/24(火)★

まさに“なんてことだ!!”という感じですが、日本中に感染を広げないための手段の一つとして、致し方ないことだと感じます。学校の中に、教師も児童も含めて一人でも感染者が出た場合には、そこから爆発的に広がることは目に見えているからです。もしも学校で集団感染が起きた時のパニックは想像を絶します。このような緊急事態には、石橋を叩いて渡ることも必要なのかもしれませんが。

でも1年生から3年生の教室を回ると、教室にはポツンポツンと子どもたち。普段は賑やかな場所だけに、人が少なく静かだと本当にさみしく感じます。子どもたちは何一つ変わっていないのですが、雰囲気子どもたちをも無口にさせてしまうのでしょうか。

卒業式も在校生と来賓の皆様が参加できませんでした。修了式も離任式も簡略化したり放送だったりです。6年生にとっては小学校6年の集大成の会、在校生にとっては一年の大きき節目の会が、このような形を行わなければならないこと、なんとも気持ちの持って行きようがありません。

しかし、ここでブツブツ言っても何もプラスになりません。ものは考えようで、今までの日本の歴史の中でも類のないことなので、一生語り継ぐことができます。とても貴重な体験をしたと考えると、きっと十年経った時に笑い話として盛り上がることができるでしょう。前向きにとらえることも時には必要ですね(*^*)v。

●もうこれが最後です～の雑感●

◆2月29日の土曜日。この日もトレーニングのためにランニング。西小を過ぎ、リルマフィンの前に差し掛かった時、何やら見たことある姿が。2年生と4年生女の子とお母さん。子どもたちは手を振ってくれ、お母さんからは「がんばってください!」の励ましをもらいました。こういうのって本当に元気になるんです。ありがとさん(^_-)-☆

◆3月1日の日曜日。いつものようにガソリンを入れに行くと、いつもいらっしゃる4年生男子のお母さん。この日はちょっと長話。「いろいろ大変ですね、がんばってください」と、ここでも励まされる。ありがたいありがたい。

◆給油を終え帰ろうと車を動かすと、今度は目の前を横切る見た顔が。3年生男子とお父さんお母さん。笑顔で会釈。すれ違いざまに手を振ってくれる男の子。その後三人はビッグボーイに入っていました(後で聞いたらステーキ食べたらしい。うらやましい～)。

◆3月の臨時休業中。お父さん母さんに連れられて子どもたちがやってくる。その数が少なくてなんかさみしい。でもでも、こんな時であってもじゃんけんしてくれる子どもたち、そして子どもの後にじゃんけんしてくれるお母さんたち。あざーっす・・・でも、大人とジャンケンして負けるといつもより悔しい・・・(^)。逆に勝つと大人げないようですが、なんかうれしい～(*^*)v。そして、某お母さんにはめっぼう強い(*^*)v。これ書いている時点で8勝1敗ですよ～。めっちゃうれしい～♪。

西地区をウロウロすると、気分転換に散歩したり、ランニングしたり、公園で体動かしたりと、みんなそれぞれ時間の使い方を工夫していた。よきかな、よきかな!(^)!。